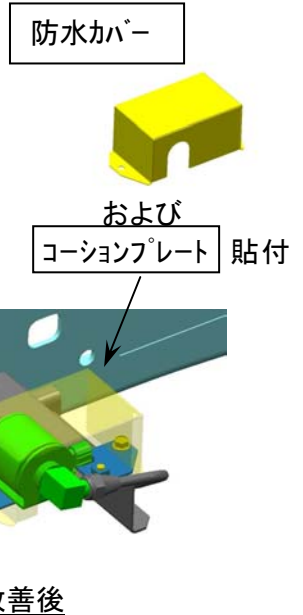
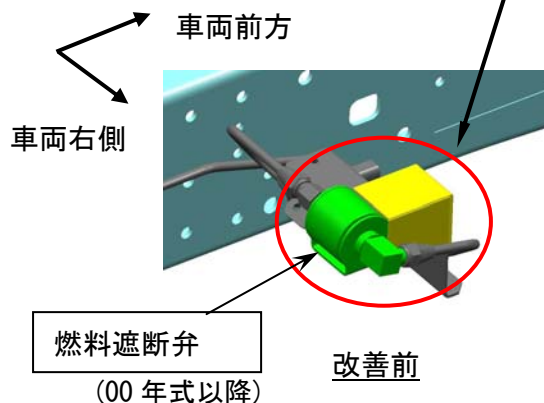
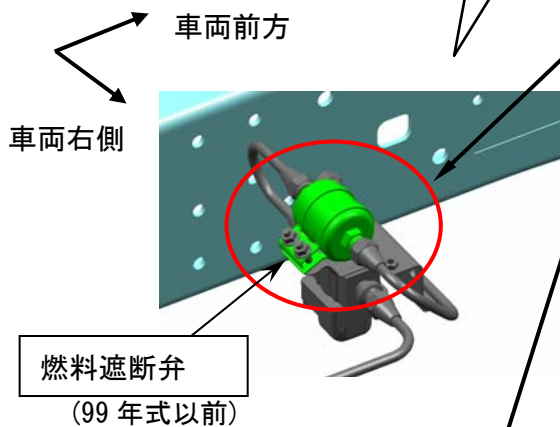


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

液化石油ガス（LPG）車の燃料遮断弁の防水構造が不適切なため、洗車時等に当該遮断弁が直接被水した場合、内部に水が浸入することがある。そのため、当該遮断弁の内部コイルが腐食し、又は短絡して溶損し、最悪の場合、原動機への燃料供給を遮断するため、原動機が停止し、再始動できなくなるおそれがある。



改善の内容

全車両、当該遮断弁を現行新品と交換し、防水カバーを取付ける。また、洗車時の水掛けを禁止する旨を記したコーションプレートを貼り付ける。

なお、防水カバーの全数供給に時間を要するため、暫定措置として当該部品を点検のうえ、規定値を外れるのものは現行新品と交換する。

注：□ は、交換および追加部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストライカー付近に「LT-40」の文字が記載されたシールを貼付ける。 暫定対策：青色 恒久対策：白黄色